BJ形分電盤自立キャビネット　BJ-B

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意　安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

⚠ 警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠ 注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

⚠ 注意する

🛇 してはいけない

❗ 必ず守る

■吊上げ時のご注意

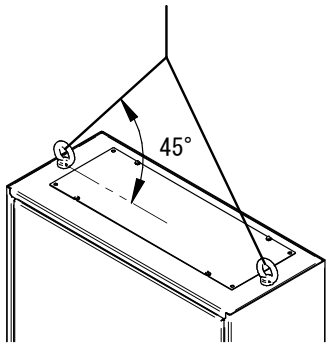
⚠ 警告

🛇 本製品を連結した状態で吊上げ作業は行わないでください。変形・落下・けがの原因になります。

❗ 吊上げ時にアイボルトをゆるめた場合は、必ず表の適正締付トルク値にて締め直してください。

ねじの呼び	適正締付トルク　N・m
アイボルトM16	11.8～24.5

❗ 本製品を吊上げる場合には、2か所で吊上げ、天板の水平面に対して45°以上の角度で均一な荷重にしてください。
45°未満の吊上げ角度、吊上げ荷重オーバーは落下・破損・けがの原因になります。



吊上げ可能質量：45°吊りの場合…4.41kN（450kgf）
（製品質量を含む）
製品質量はカタログをご参照ください。

■施工上のご注意

⚠ 警告

アースせよ　接地端子を利用して、アース接続を確実に行ってください。感電の原因になります。

❗ 電気工事（取付･施工）は有資格者が行ってください。故障･感電･けがの原因になります。

❗ 電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守してください。故障･感電･けがの原因になります。

❗ キャビネットを加工して吊上げなどを行う場合は、集中的な荷重が加わらないように十分な補強を施してください。変形・破損・落下の原因になります。

❗ 十分な強度のある壁面又は水平面に確実に固定してください。けが、故障の原因になります。

⚠ 注意

本製品は屋内用です。屋外では使用できません。

アングルなどを使って設置面を上げる際は、下側からキャビネット内部に水が浸入するおそれがあります。

本製品は重量物です。組立の際は必ず2人以上で作業してください。けがの原因になります。

扉、鉄製基板は重量物です。けが防止のため、1人で着脱作業を行わないでください。

本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。ヘコミや歪みが発生し、強度の低下の原因になります。

搭載可能質量を超える物を取付けないでください。転倒・性能の劣化・破損・けがの原因になります。

搭載可能質量 kg	
鉄製基板	扉（1枚当たり）
基板単位面積当たり60kg/㎡※	10

※基板寸法については下表を参照してください。

基板寸法 mm	
ヨコ寸法	タテ寸法
製品ヨコ寸法-120	製品タテ寸法-120

搭載可能質量の計算例（BJ20-619B）
基板表面積＝480mm×1780mm＝0.85㎡
基板搭載可能質量＝0.85㎡×60kg/㎡＝51kg

当該搭載可能質量（基板＋扉）にて耐震強度を確認しています。（キャビネット工業会規格 CA100準拠）

吊上げ可能質量は、前頁の「■吊上げ時のご注意」をご参照ください。

必ず水平な床面に設置してください。床面が水平でないと扉がひずみ、IP性能を保持することができなくなり、機器の故障の原因になります。また、扉のひずみにより開閉しづらくなり、けがにつながるおそれがあります。

床面が平行でなく扉にひずみが生じた場合はスペーサなどにより設置面が平行になるように調整してください。

アンカーボルト固定前に扉を開ける際は、前倒防止の処置をしてから扉を開けてください。扉を開けると前倒れし、けがの原因になります。

アンカーボルトは指定のボルト径を使用して下さい。地震などで転倒・破損の原因になります。
フカサ300mmの製品を単独自立設置する場合、中央部の2点固定用アンカー穴は使わず、外側4点で固定してください。
アンカーボルトの打設距離が狭くなると引抜強度を確保することができず、転倒のおそれがあります。
単独自立設置の場合のアンカーボルトサイズは、当社基準による搭載可能質量にて、耐震クラスB・中間階設置を前提として選定しています。適用される設備機器の耐震クラスや設置階に応じて適切な強度のアンカーボルト選定や転倒防止処置を行ってください。

重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。また、扉部はできるだけ蝶番側に設置してください。転倒・破損・けがの原因となります。

開口プレートに機器や物を載せたり、人が乗らないでください。開口プレートが変形し、けがの原因になります。

穴加工した部分は突起やバリをヤスリなどで確実に除去し、タッチアップペイント（弊社型番：BP81)などで補正を行ってください。錆びが発生するおそれがあります。また、穴加工した場合に取付けるパーツはIP性能に合致したものを使用し、保護等級に応じた処置を行ってください。IP性能の保持ができなくなるおそれがあります。

めっき部品に触れる場合は、必ず軍手などの手袋を着用してください。素手で触ると、けがの原因になります。

使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下・所定のIP性能が得られないなどの原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク　N・m ※
M3	0.5～0.9
M5	1.8～2.9
溶接ナット取付用ねじM6	3.0～4.0
その他M6ねじ	3.0～4.4
フランジナットM8	7.9～13.7
±3点セムス 六角アースボルトM10×16	13.0～20.0
その他M10ねじ	14.7～24.5
アイボルトM16	11.8～24.5

※ タッピンねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

■使用上のご注意

⚠警告

長期間の使用で取付部（ねじ、ナット）などの傷みやゆるみがないか、定期的に点検してください。
傷みがある場合は交換し、ゆるみがある場合は適正締付トルクにて締め付けてください。破損・落下・所定のIP性能が得られないなどの原因になります。

⚠注意

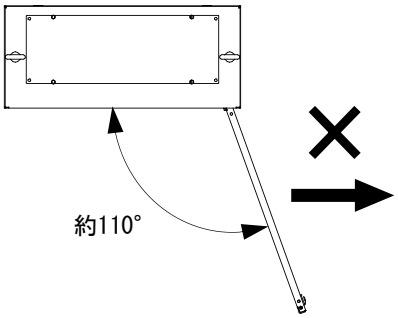
指に注意

扉を勢いよく閉めないでください。指を挟みけがの原因になります。

次のような場所では使用しないでください。
故障・けがの原因になります。
・高温、高湿となる場所
・腐食性ガスのある場所
・振動、衝撃のある場所
・可燃性ガスのある場所
・粉塵やオイルミストが多い場所
・ノイズ（電界、磁界）の強い場所
・導電性粉塵(カーボン繊維、金属粉など）のある場所
・有機溶剤のかかる場所
・塩分を多く含んだ場所
・水滴のかかる場所

天井面への局部的な荷重は避けてください。変形の原因になります。

扉の開閉角度は約110°です。扉を開けた状態で
下図の矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。
蝶番部および扉の変形・破損の原因になります。



ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。

シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。

キャビネットを寝かせた状態で扉を開く場合はストッパーを使用するなどして扉の倒れこみにご注意ください。扉で体を挟み、けがや事故の原因となります。

左右の基板仮置金具に均等に荷重がかかるように
基板の取り付けを行ってください。片側に荷重が集中した場合、キャビネットおよび金具が破損するおそれがあります。

扉を外して使用する場合は、導電部を保護板等で確実に覆い、直接触れないようにしてください。感電のおそれがあります。

ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜差しが硬くなるおそれがあります。

■各部の名称・仕様

【片扉仕様】

天面開口プレート
アイボルト
扉
配線支持レール
ボデー
ロッド棒
平面ハンドル
（キーNo.N200）
基板仮置金具
鉄製基板
10mm方眼目盛付
下面開口プレート
基台
鉄製図面ホルダ
接地端子
定格電流1000A対応
溶接ナットM6
扉アース接続用※

【片扉・両扉共通仕様】

アイボルトM16
取り外して使用する場合は
付属のブラインドキャップ
をご利用ください。
角座金16
ばね座金16
六角ナットM16

耐震補強金具
（フカサ300mmの機種）

【両扉仕様】

天面開口プレート
右扉
アイボルト
配線支持レール
ボデー
ロッド棒
平面ハンドル
（キーNo.N200）
左扉
鉄製図面ホルダ
ロッド棒
平面ハンドル
（キーNo.N200）
溶接ナットM6
扉アース接続用※
鉄製基板
10mm方眼目盛付
基板仮置金具
接地端子
定格電流1000A対応
下面開口プレート
基台

片扉：IP2XD(背面取付穴を除く)　両扉：IP2XC(背面取付穴を除く)

塗装色	ライトベージュ塗装(5Y7/1)
	クリーム塗装(2.5Y9/1)
材質	鉄
取付基板	鉄製基板 2.3mm　基板クリーム色(2.5Y8/2)
キャビネット板厚	扉 2.3mm　ボデー 2.3mm 天面・下面開口プレート1.6mm
基台板厚	フカサ250mm以下の製品は3.2mm フカサ300mmの製品は3.2mm、4.5mm
ハンドル	平面ハンドル(H-13AN)　(キーNo.N200)
扉形式	片扉または両扉

※アース線は付属していません。

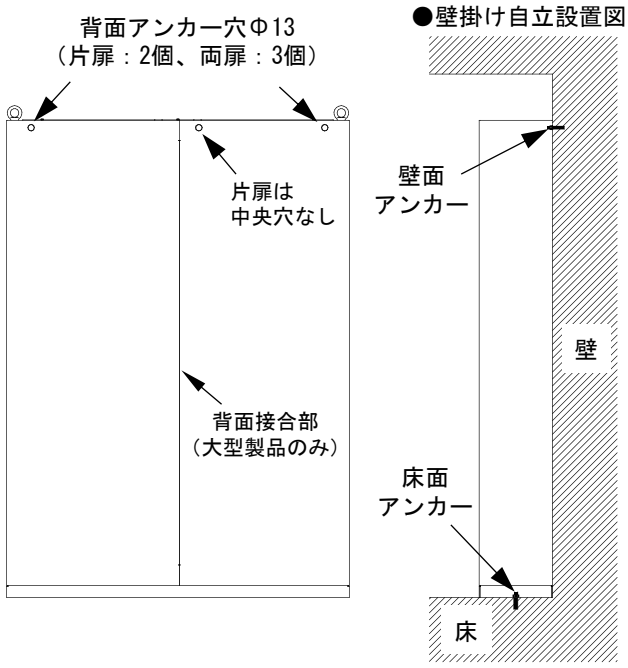
●付属品

名称	片扉	両扉	備考
±3点セムス六角 アースボルトM10×16	2コ	2コ	アース用
ばね座金10	2コ	2コ	
平座金10	2コ	2コ	
ロッド穴ブッシュ	2コ	4コ	ロッド穴栓用
ブラインドキャップ	2コ	2コ	アイボルト穴栓用
キー（キーNo.N200）	1コ	1コ	ハンドル施錠用
矢印ラベル	1コ	－	逆扉ハンドル用
取扱説明書（本紙）	1部	1部	－

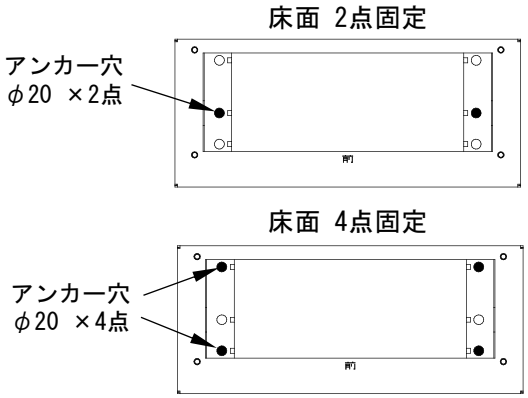
■設置方法

基台は下記に示す所定のアンカーボルトを用いて床面・壁面に固定してください。

フカサ	200mm～250mm	300mm			
設置方法	壁掛け自立設置のみ	壁掛け自立設置の場合	単独自立設置の場合（床面でのみ固定）		
アンカーボルト径 および固定点数	壁面：M12 ×2点(片扉)／×3点(両扉) 床面：M16またはM12 ×2点または4点		タテ	1950mm超過	床面：M16 ×4点
				1950mm以下	床面：M16またはM12 ×4点



●基台の床面アンカー固定図（基台を上から見た面）



床面アンカーボルト径	最小埋込深さ
M16	70 mm
M12※	60 mm

※床面アンカーボルトにM12を使用する場合、基台アンカー穴がφ20のため、一般的な丸平座金では座面が確保できない場合があります。適切な座金をご用意ください。

⚠ 注意

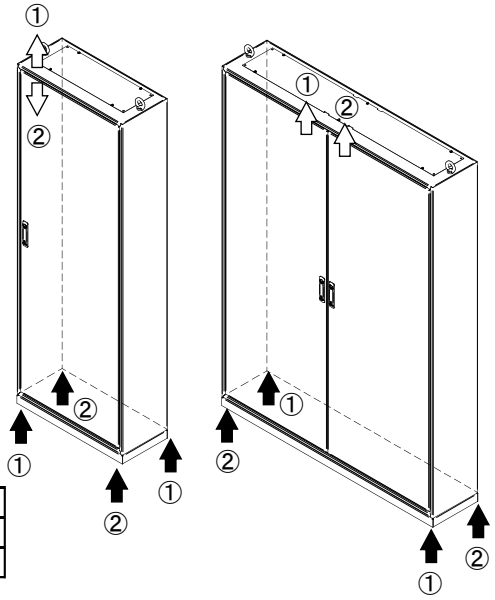
アンカーボルトは指定のボルト径を使用して下さい。地震などで転倒・破損の原因になります。
フカサ300mmの製品を単独自立設置する場合、中央部の2点固定用アンカー穴は使わず、外側4点で固定してください。
アンカーボルトの打設距離が狭くなると引抜強度を確保することができず、転倒のおそれがあります。
単独自立設置の場合のアンカーボルトサイズは、当社基準による搭載可能質量にて、耐震クラスB・中間階設置を前提として選定しています。適用される設備機器の耐震クラスや設置階に応じて適切な強度のアンカーボルト選定や転倒防止処置を行ってください。

●扉の段差調整方法

設置面が平らでない場合、キャビネットがひずみ、扉に段差が生じることがあります。
床面が平行でなく扉にひずみが生じた場合は、スペーサー等により設置面が平行になるように調整してください。

調整方法

扉が ⇧ ①の方向にひずんだ時は、
　⬆ ①の箇所のどちらか一方にスペーサー等を
　　入れてください。
扉が ⇧ ②の方向にひずんだ時は、
　⬆ ②の箇所のどちらか一方にスペーサー等を
　　入れ、設置面が平行になるように調整してください。



【オプションパーツのご案内】
スペーサーには、オプションの「基台用スペーサ」をご利用ください。

名称	品名記号	摘要
基台用スペーサ	BP17-10SU	U字（アンカーボルト用､t1.0）
	BP17-1030S	50mm角（t1.0､t3.0）

■外装・内装部材の着脱方法

機器搭載・配線を行う際は、必要に応じて外装・内装部材を取り外して作業してください。

●扉の取外方法

扉を外す時には以下の手順で作業を行ってください。
蝶番は上部①→下部②→中央部③の順に取り外してください。

1. 扉開角度を約90°に保ち、蝶番のピンブッシュを取り外した後、先端の平たい工具等を蝶番ピンの頭に当て、ハンマー等で少しずつ上に押し出し、引き抜きます。
その際は扉に傷がつかないよう、養生を行ってください。

2. 扉を約20°まで閉じ、角度を保持したまま扉を蝶番から矢印の方向に外してください。（図1）

●扉の取付方法

扉を取り付ける時は上記の逆の手順で行ってください。
・取付時、蝶番は扉の中央部より取り付けてください。

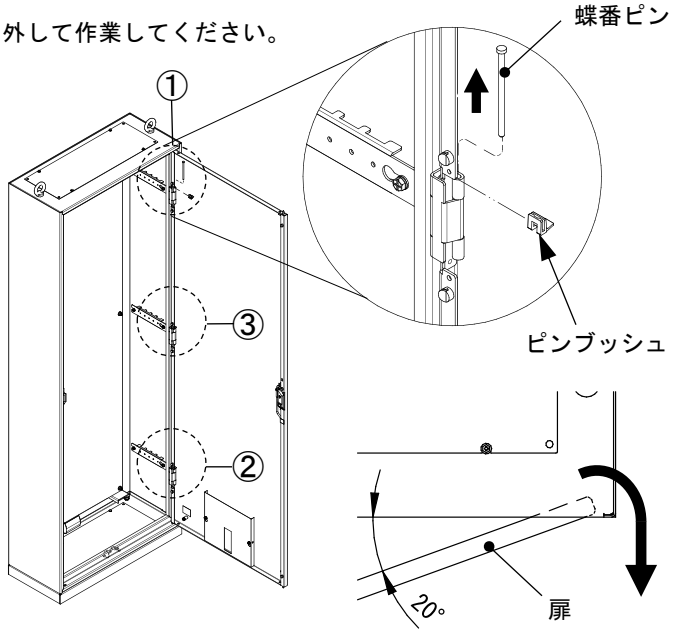
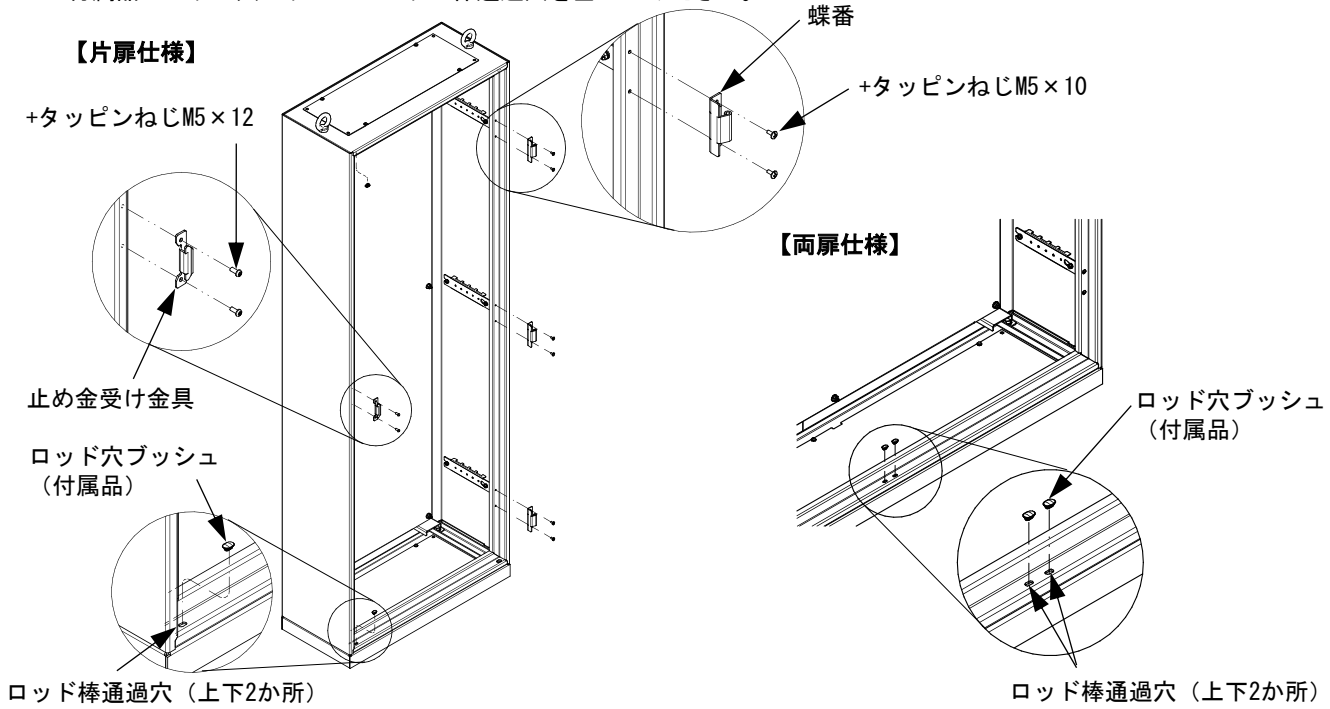


図1 扉の外し方

⚠ 注意	
	扉、鉄製基板は重量物です。けが防止のため、1人で着脱作業を行わないでください。

●ドアレス盤として使用する場合

1. 扉を外します。
2. 蝶番、止め金受け金具（片扉のみ）を外して、再度ねじのみを取り付けます。
3. 付属品のロッド穴ブッシュでロッド棒通過穴を塞いでください。



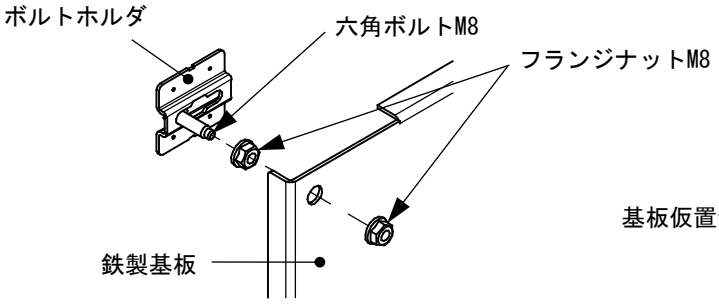
⚠ 注意	
	扉を外して使用する場合は、導電部を保護板等で確実に覆い、直接触れないようにしてください。感電のおそれがあります。
	使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下・所定のIP性能が得られないなどの原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

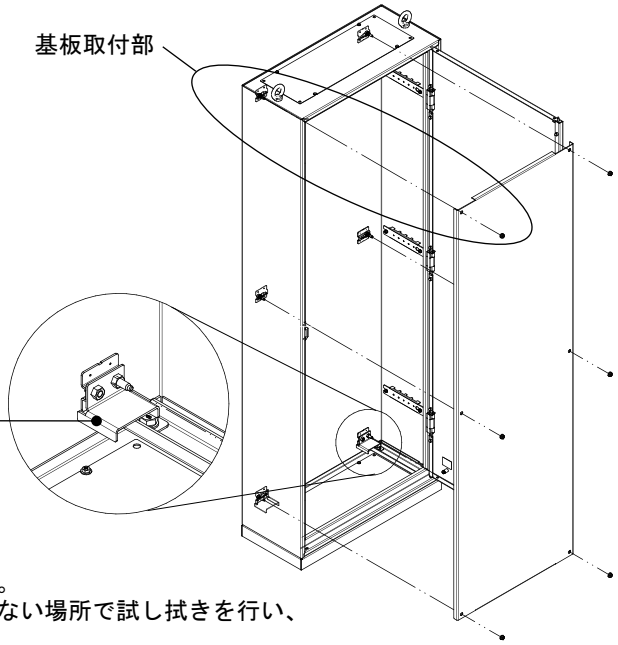
ねじの呼び	適正締付トルク　N・m
M5	1.8～2.9

●鉄製基板の取付方法

鉄製基板を取り外し、再度取り付ける際には
下記のように取り付けてください。

1. 鉄製基板を基板仮置金具に載せてください。
2. 鉄製基板をセットし、フランジナットM8で固定してください。





鉄製基板の汚れやケガキ線拭き取りのご注意

・汚れやケガキ線を拭き取る際は、やわらかい布で軽く拭いてください。
・汚れやケガキ線を拭き取る際は、鉄製基板の側面や背面などの目立たない場所で試し拭きを行い、
塗装面が傷まないことを確認してください。
アルコールやベンジンなどの溶剤をご使用になると塗装面が傷むおそれがあります。

⚠ 注意

扉、鉄製基板は重量物です。けが防止のため、1人で着脱作業を行わないでください。

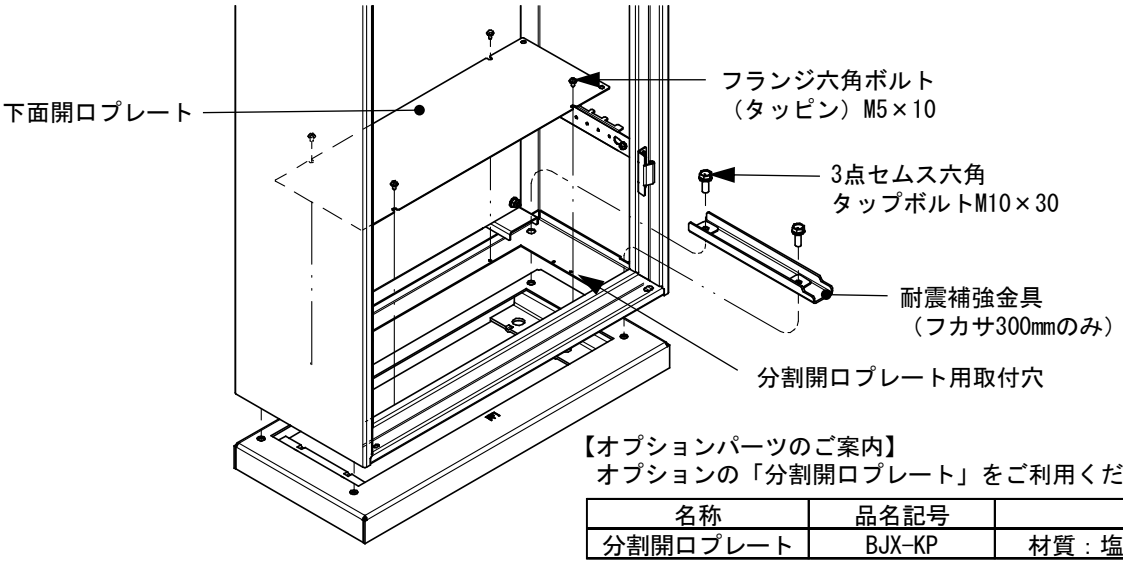
使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下・所定のIP性能が得られないなどの原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク　N・m
フランジナットM8	7.9～13.7

●基台・開口プレートの取付方法

基台・開口プレートを取り外し、再度取り付ける際には下記のように取り付けてください。

・キャビネットに基台を取り付ける際は、3点セムス六角タップボルトM10×30で固定してください。
フカサ300mmの製品は、キャビネット両端に耐震補強金具を取り付けてください。
・下面開口プレートを取り付ける際は、フランジ六角ボルト（タッピン）M5×10で固定してください。
天面開口プレートも同様に取り付けてください。



【オプションパーツのご案内】
オプションの「分割開口プレート」をご利用ください。

名称	品名記号	摘要
分割開口プレート	BJX-KP	材質：塩ビ（t3）色彩：グレー

⚠ 注意

開口プレートに機器や物を載せたり、人が乗らないでください。開口プレートが変形し、けがの原因になります。

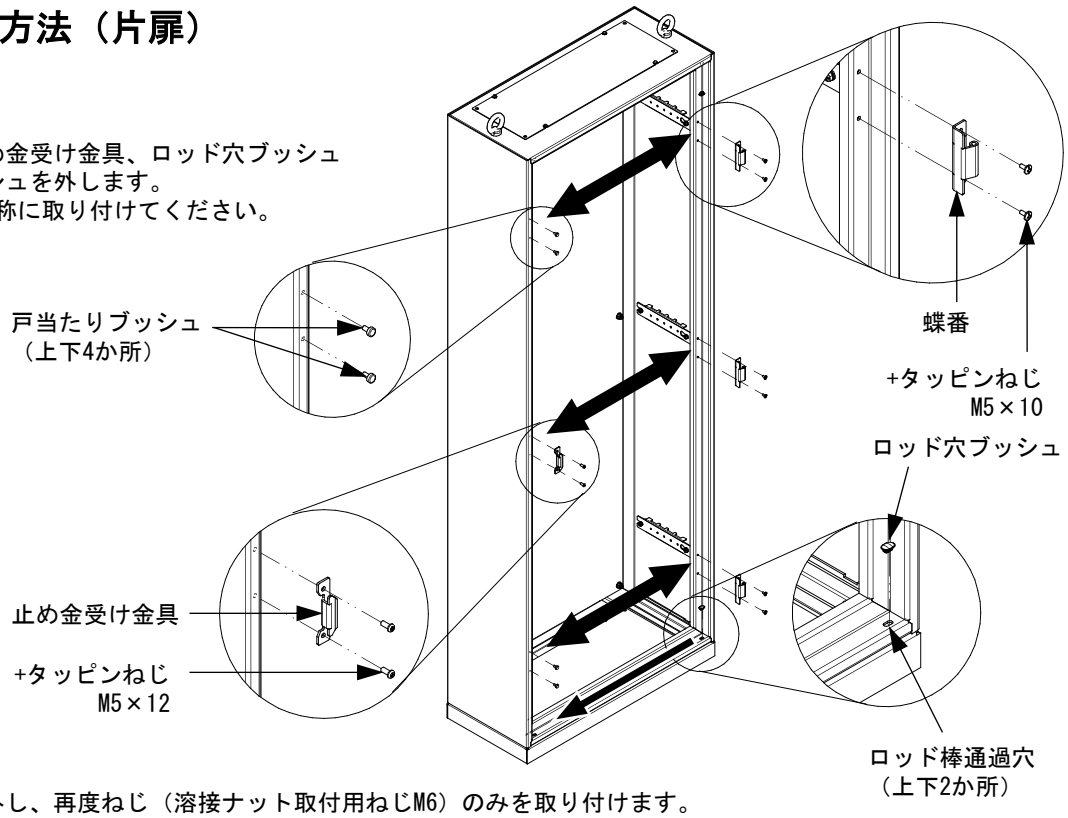
使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下・所定のIP性能が得られないなどの原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク　N・m
M5	1.8～2.9
M10	14.7～24.5

■逆開き扉への変更方法（片扉）

●ボデーの組替方法

1. 扉を外します。
2. ボデーから蝶番、止め金受け金具、ロッド穴ブッシュおよび戸当たりブッシュを外します。
3. 手順2の部品を左右対称に取り付けてください。



●扉の組替方法

1. 扉から図面ホルダを外し、再度ねじ（溶接ナット取付用ねじM6）のみを取り付けます。
2. ハンドルおよびロッド棒セットを外します。（図2）
3. 本紙10頁「ハンドル回転方向変更方法」の手順に従い、ハンドル取手の回転方向を変更します。
4. ロッド棒セットを組み替えます。（図3）

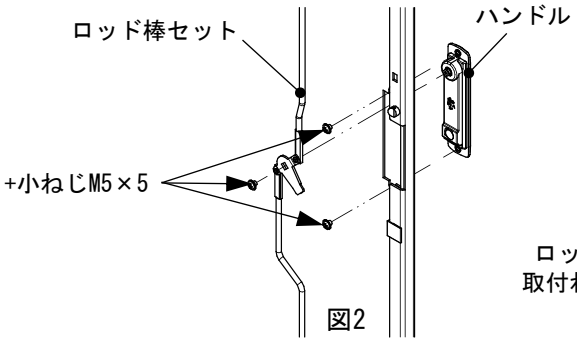


図2

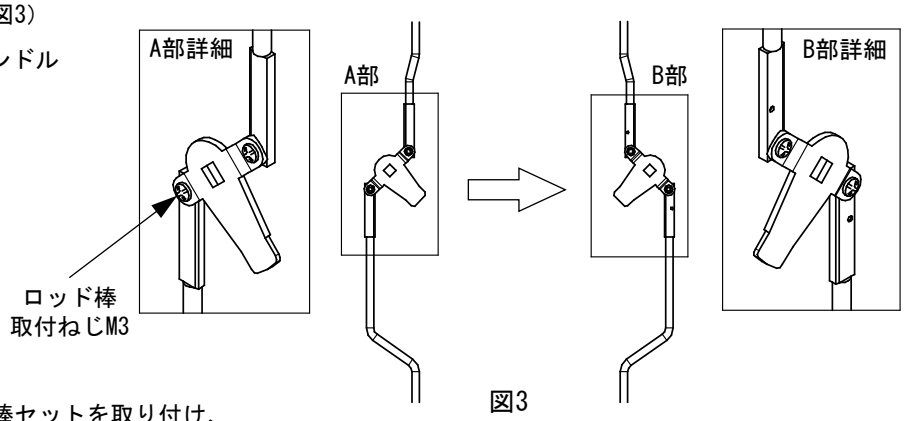


図3

5. 扉を上下反転し、ハンドル、ロッド棒セットを取り付け、戸当たりブッシュを組み替えます。（図4）
6. ボデー組替後、扉を取り付けます。（図5）

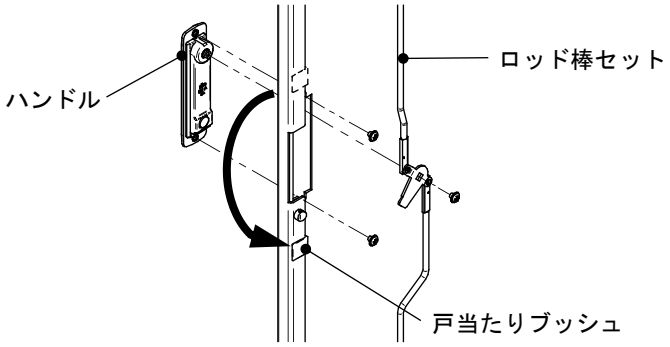


図4

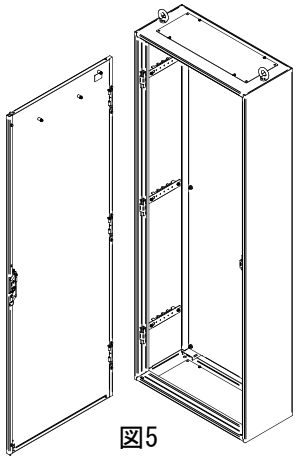


図5

ご注意

逆開き扉に組み替えた場合、鉄製図面ホルダは取付できません。樹脂製図面ホルダ BP85（オプション）をご利用ください。

⚠ 注意

使用するねじなどは指定されたものを使用してください。
取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、破損・落下・所定のIP性能が得られないなどの原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

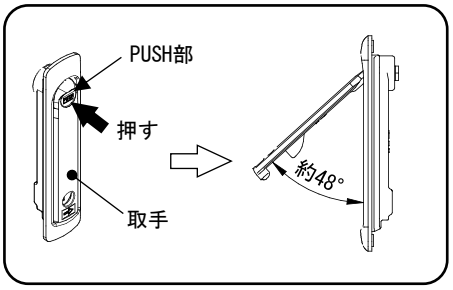
ねじの呼び	適正締付トルク　N・m　※
M3	0.4～0.9
M5	1.8～2.9
溶接ナット取付用ねじM6	3.0～4.0

※タッピンねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

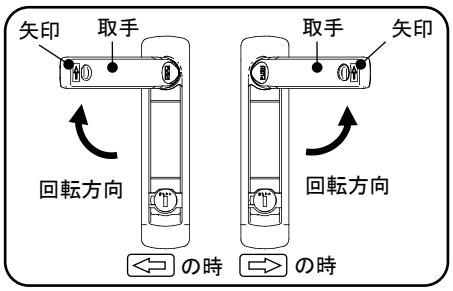
■使用方法

●ハンドルの開閉方法

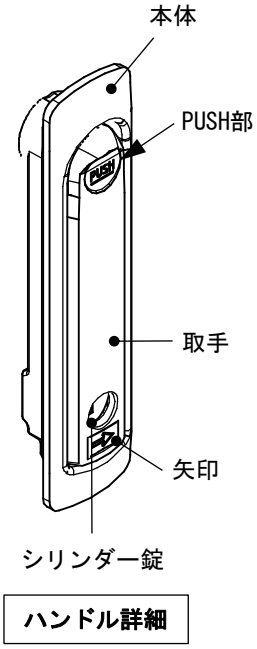
開け方



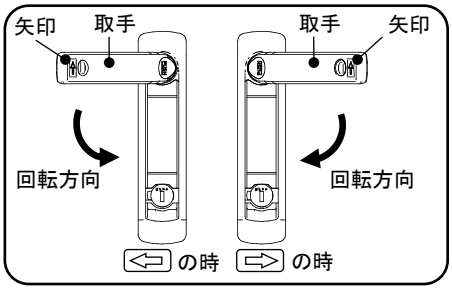
1. 取手上のPUSH部を押します。



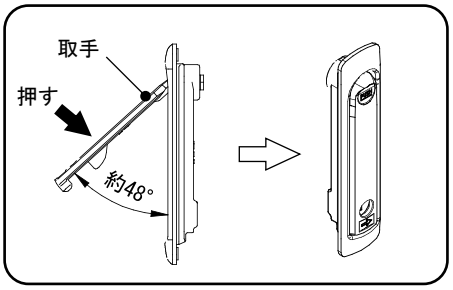
2. 取手を握り、矢印の方向へ回し、
扉を開いてください。



閉め方



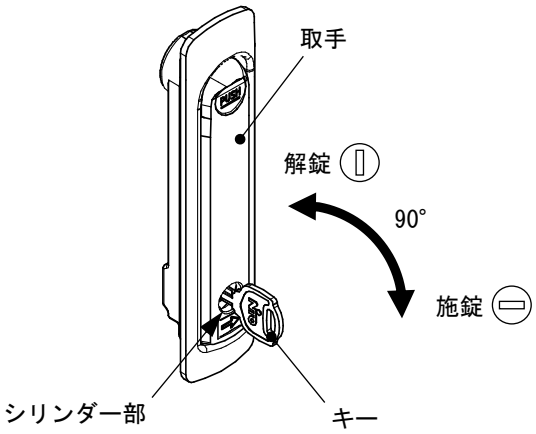
1. 取手を握り、矢印と反対方向へ回し、
扉を開めます。



2. 飛び出している取手を、本体側に
押してください。

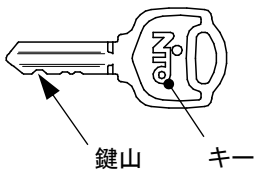
●ハンドルの施錠・解錠方法

1. 取手を閉じてください。
2. ハンドルのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
3. 右回りで施錠、左回りで解錠してください。



ご注意

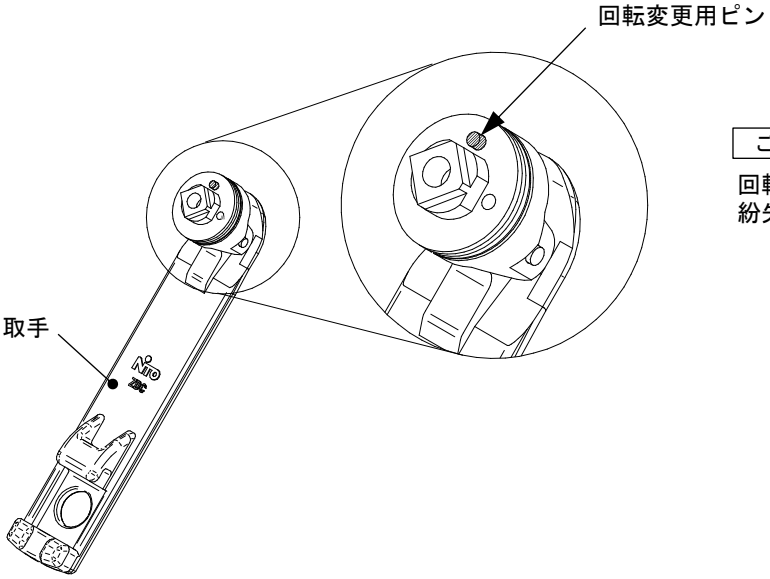
キーには挿入向きがあります。
解錠状態から施錠する際は
鍵山を下にして挿入してください。



⚠ 注意			
🚫	ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。	❗	ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜差しが硬くなるおそれがあります。
	シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。		

■ハンドル回転方向の変更方法

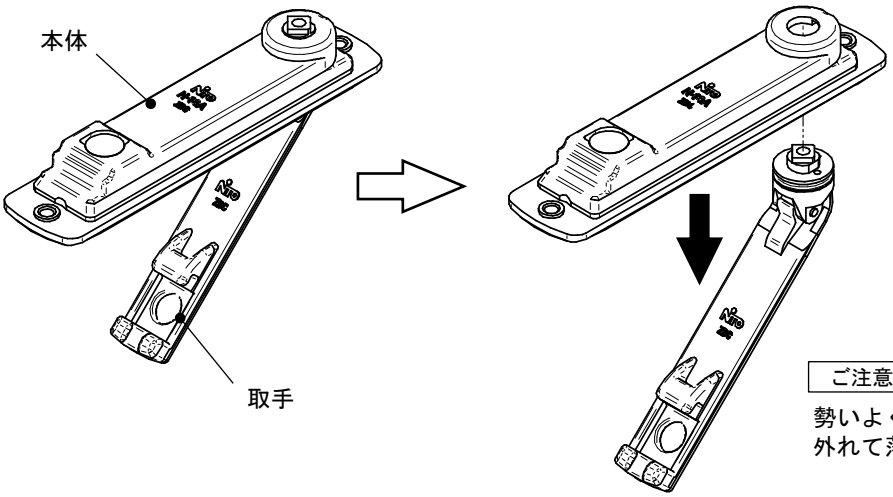
取手内側の回転変更用ピンを組み替えることで回転方向を変更できます。
下記の手順に従って組み替えを行ってください。



ご注意

回転変更用ピンは外れやすいため、
紛失にご注意ください。

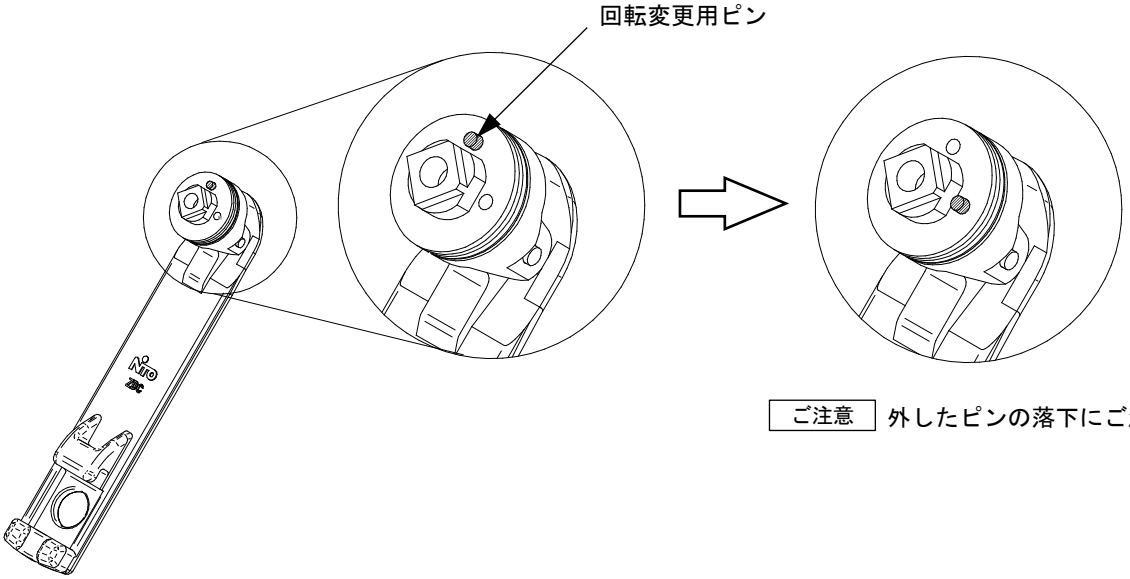
1. 図の向きに本体を持ち、取手を矢印の方向にゆっくり引き抜きます。



ご注意

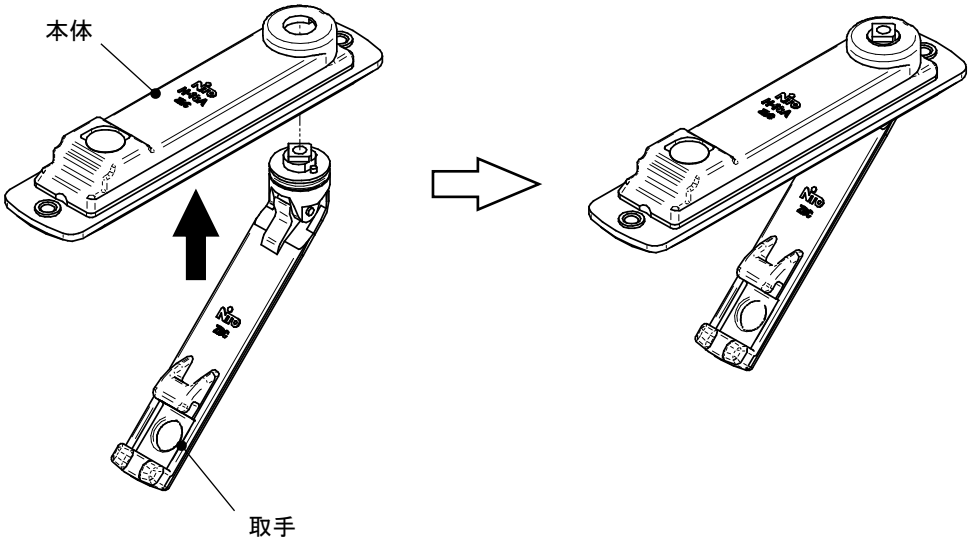
勢いよく引き抜くと、回転変更用ピンが取手から
外れて落ちる可能性があります。

2. 回転変更用ピンを外し、図の穴位置にピンを組み替えます。
   下向きにすると、回転変更用ピンが外しやすくなります。

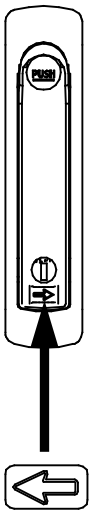


ご注意 外したピンの落下にご注意ください。

3. 図の向きに本体を持ち、取手を矢印の方向に確実に組み込みます。



4. 矢印ラベル（付属品）を、取手下の ⇨ に重ね貼りします。



矢印ラベル（付属品）

MEMO

お問合わせ先

ご不明な点がありましたら弊社お客様相談センターにお問合わせください。

TEL(0561)64-0152

〈受付時間〉9：00～12：00、13：00～17：00（土・日・祝日は休み）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2026年7月
B800400903

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地